

ポンポン舟といえば、ブリキや木で作られた小さな舟の形を思い浮かべる方が多いと思います。蒸気力で水面を進む素朴なおもちゃとして、長い間親しまれてきました。しかし近年は3Dプリンターを使うことで、従来の発想にとらわれない自由な形のポンポン舟を作ることができるようになりました。この動画に登場するのは、魚をモチーフにした「おさかなポンポン舟」です。かわいらしい外観でありながら、内部にはしっかりとポンポン舟の仕組みが組み込まれており、水面を元気よく走り回ります。

3Dプリンターの大きな魅力は、形状を自由に設計できることです。舟の形に限らず、魚や動物、乗り物など、さまざまなデザインをそのまま水上模型として実現できます。このおさかなポンポン舟も、見た目の楽しさを重視して設計したもので、泳いでいる魚のような姿が水面によく映えます。蒸気機関の不思議な動きと親しみやすいデザインが組み合わさることで、科学工作としてだけでなく、見て楽しめる作品にもなっています。

また、このような作品は大人がそばについて安全に管理すれば、小さな子どもでも十分に楽しむことができます。水面をくるくると動き回る様子を眺めるだけでも楽しく、蒸気力で進む仕組みに自然と興味を持つきっかけにもなります。今回は最も手軽な市販の「飾りキャンドル（直径4cm）」を熱源とし、さらに小さなおさかなも一緒に浮かべてみました。主役のおさかなポンポン舟の周囲を小魚たちが漂うことで、水槽全体がまるで涼しげな池や水辺の風景のように見えてきます。ものづくりの楽しさと科学の面白さ、そして夏らしい爽やかな雰囲気一度に味わえる、そんな「おさかなポンポン舟」の動画です。

